

家具・インテリアデザイン

選 択

開講年次：2 年次後期

科目区分：講義＋演習

単 位：2 単位

講義時間：30 時間

■**科目のねらい**：日常生活の居住環境の中でかかわりの深い家具と、建築物の内部空間を構成するインテリアのデザインについて、具体的な事例を用いて理解を深める。また、建築空間や都市空間における要素としての家具や内部空間について、的確な空間把握と利用目的に応じた設計をするための能力を養う。授業では、家具・インテリアデザインの因子を理解した上で、木製スツールの制作を通して、使用目的や素材・形態・使用環境それぞれの関係を考慮したデザイン能力を身に付ける。

■**到達目標**：①人の行動や知覚等を考慮してインテリアや家具の使用材料や構法を考えることができること
 ②室内空間の基本的計画（平面計画、断面計画、家具配置、照明計画等）ができること
 ③使用目的、使用者の行為、材料の特性などを理解した上で、独自の着想に基づき家具のデザインができること

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎片山 めぐみ・中村 昇・澤口 将達

■**授業計画・内容**：

第 1 回	家具・インテリアデザインのあり方	}	ガイダンス・レクチャー・椅子実測
第 2 回	家具・インテリアデザインの計画と演習 1		
第 3 回	家具・インテリアデザインの計画と演習 2		
第 4 回	家具・インテリアデザインの計画と演習 3	}	デザイン [図面：1/2縮尺、A2用紙] (第4回に制作の流れレクチャー)
第 5 回	木製スツールの制作 1		
第 6 回	木製スツールの制作 2		
第 7 回	木製スツールの制作 3		
第 8 回	木製スツールの制作 4	}	制作
第 9 回	木製スツールの制作 5		
第10回	木製スツールの制作 6		
第11回	木製スツールの制作 7		
第12回	木製スツールの制作 8		
第13回	木製スツールの制作 9		
第14回	木製スツールの制作 10		
第15回	木製スツールの制作 11～作品の講評		発表（～16：20）

■**教科書**：必要に応じて印刷物を配布する。

■**参考文献**：授業時に参考図書を紹介する。

■**成績評価基準と方法**：授業内の演習等に対する態度およびスツール制作課題の成果物により評価する。

評価方法	到達目標			評価基準	評価割合(%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③		
授業態度	○	○	○	積極的に参加すること	20
課題・作品	◎	◎	◎	制作の意図と制作物の内容が吟味されていること	80
出席				2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：インテリアデザインおよび家具におけるスタディと表現を的確に行なうために、本授業の履修を希望する学生は、設計製図基礎（2年前期）を履修していることが望ましい。

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：特に関連科目としてはあげていませんが、様々なデザインの歴史、現在のデザインの動向などを積極的に各自で情報収集することを心掛けてください。
 スツール制作の材料費として、4,000円程度が必要となります。